

## 長良川河口堰 30 年 シンポジウムプログラム(案)

1. 開催日及び開催場所 2026年3月15日(日) @ウイルあいち(名古屋市)

## 2. プログラム案

※日本語・韓国語逐次通訳、プレゼンのテーマは(仮題)

	プレゼンのテーマ	プレゼンター(予定)
10:00~10:05	開会挨拶	未定
10:05~11:35 韓国ナクトンガン の事例 ※プレゼン+質疑 応答	①ナクトンガン河口の汽水域創出プロジェクトの実現と大規模河川工事計画との関係 ②ナクトンガン河口域の生態系保全・回復に向けた釜山市のイニシアティブ ③ナクトンガン流域・河口域の生態系保全・回復に向けた NGO の取組	K-water 釜山地域事務所 河口統合運用部長(土木工学)。 釜山広域市 派遣する。ただし、2026年1月~2月に人事異動があるため、人名は未定 NGO イ・ジュンギョンまたはカン・ホヨルさん
11:35~12:00	質疑応答	

	プレゼンのテーマ	プレゼンター(予定)
13:00~14:00 健全な水循環・流域総合水管理	①健全な水循環・流域総合水管理 ②長良川河口堰運用 30 年の実績と課題	①蔵治 光一郎 東京大学教授 ②水資源機構中部支社 報告者は調整中
(10 分間)	(休憩)	
14:10~15:10 環境、生態系、 漁業資源	③長良川・伊勢湾の生態系の現状と課題 ④世界流域遺産;長良川と木曾川、揖斐川の生態系の現状と課題	③竹門 康弘 大阪公立大学客員研究員 ④森 誠一 岐阜協立大学教授
(15 分間)	(休憩)	
15:25~16:55	意見交換 次の2つのテーマ ①日韓の「水循環基本法と水循環政策」(蔵治先生のリード) ②河川と海の境界環境としての汽水・感潮域 (森先生のリード)	①蔵治光一郎先生+韓国プレゼンター(3人) ②森誠一先生+竹門康弘先生 水資源機構中部支社(未定)
16:55~17:00	閉会挨拶	未定

(参考)

1. 午前の部は、韓国ナクトンガンからの報告です。

①プレゼンテーションの時間は各 30 分です。

日本語と韓国語の逐次通訳ですので、韓国語でのプレゼン時間は概ね半分の 15 分程度

②質疑応答 25 分は、検討会委員の方々をお願いします。簡潔な質問と回答で1件 5 分、およそ 5～6 問の質問が目安です。

2. 午後の部は、

(1)プレゼンテーションは、各 30 分です。

日本語のプレゼンテーションで、韓国からの参加者(現時点 6 名)に対しては、ワイアレスで「ウイスピーング」によって、日本語を韓国語に通訳します。

(2)意見交換の時間は、90 分です。

①「流域総合水管理」のテーマで、蔵治光一郎先生と韓国の3人との間で、意見交換します。

(蔵治光一郎先生の司会)

※参考

日本・水循環基本法(2014年4月2日公布、7月1日施行)、

(最終改正:平成 27(2015)年 9 月 11 日法律第 66 号)

・「流域総合水管理のあり方について」

(令和7年6月 国土審議会・社会資本整備審議会答申)

韓国・水管理基本法 (法律第 15653 号(2018 年 6 月 12 日))

改正:2020 年 5 月 26 日法律第 17326 号、

2021 年 1 月 5 日法律第 17841 号

・「四大河川事業」をめぐる長年にわたる議論の蓄積

②「河川と海の境界環境としての汽水・感潮域」のテーマで、森誠一先生と竹門康弘先生及び水資源機構中部支社(未定)の方との間で、意見交換します。(森誠一先生の司会)